

令和５年度 第２回津島市民病院経営評価委員会 評価委員意見等一覧 （令和６年３月／書面開催）

	実行計画取組事項名及び所管部署			意見内容	
経営強化プラン実行計画 R5総括表について 【資料１】	3	「診療体制に見合う看護師・医療技術員等の確保・育成」	看護局	伊関委員	全国の都市部の急性期病院で、看護師の大量退職により入院受け入れの抑制等を行っている病院が相次いでいる。看護師の離職防止とモチベーション向上に、積極的に取り組んでください。単なる精神論ではなく、必要であれば業務改善ツール（観察カメラ、入眠センサー、スマホやインカムなど）の導入も検討してください。
				岩瀬委員	看護の離職率は低下し大いに成果あり。続行してください。
	4	「名古屋医療圏への患者流出の防止（入院の自域依存率の向上）」	戦略企画室	松浦委員	名古屋医療圏への患者流出の防止に関し、どのような対策を行って維持できたのか不明ですが、視点を変えて流出の防止を目的とせず、大学病院などの高度急性期病院と自院の医療提供体制を鑑みた連携を目的としてはどうでしょうか。
	5	「入院期間Ⅱ以内での退院」	地域医療センター		急性期在院日数の短縮に向けた改善策に関し、「長期化する患者層が存在していることが示唆される。」とありますが、これに対し具体的な対策を立てることが必要と考えます。
	12	「施設基準取得の向上」	医事課 看護局		施設基準取得の向上に関し、令和６年の診療報酬改定で地域包括ケア病棟のあり方が大きく変わるため、新たな病棟運用を策定する必要があると考えます。
	16	「栄養管理指導の充実」	栄養管理室	岩瀬委員	外来栄養指導件数が400件→740件等のカイゼン事例を院内に周知し、他部署の刺激にすることは重要です。また、表彰も良いと思います。
	29	「患者・家族の利便性の向上（患者目線での改善）」	全部局（各局）	松浦委員	入院患者満足度に関し、満足度が９％低下していることは大きな問題です。その原因を十分検討し、対策を立てることが必要と考えます。
	37	「タスクシフト/シェア」	全部局（事務局）		タスクシフト/シェアに関し、医師事務作業補助者や看護補助者の人数を確保するだけでなく、その方達にどんな作業を補助させるかを十分検討し、タスクシフトに繋げていくことが必要と考えます。
評価委員意見を受けての取組 R5総括表について 【資料２】	2	「研修医の育成」	診療局	岩瀬委員	近年は初期研修医は順調にフルマッチングを続けていましたが、後期研修医の残留が無いことが医師不足の大きな一因でした。今年度は残留する研修医がおり、成果によるものと言えます。この医師がイキイキと働けば、後輩が続く可能性も増し、キーとなる医師になると思います。
	6	「救急受入の向上」	救急医療部 救急医療委員会	松浦委員	救急受入に関し、救急車受け入れ件数が400件以上増加し、救急車お断り率も10%以上改善されており、対策の効果が表れた結果と思われます。救急外来等で、頑張っている職員だけに偏った負担が掛からないよう目配りした上で、更なる改善に向けての取り組み強化が望まれます。
	7	「紹介受入、逆紹介の向上」	地域医療センター	伊関委員	医療機関、介護施設への営業を行ったことは評価できます。一層の活動により、集患を行うことを期待します。
				松浦委員	紹介・逆紹介に関し、紹介率の向上が達成できませんでした。対策として、予約申し込みの都度ではなく、事前に対象となる診療科医師と紹介患者受け入れ基準の標準化を進めてはどうでしょうか。
	39	「医師事務作業補助者の充実」	医事課	岩瀬委員	離職した医師事務作業補助者の離職理由から改善できることがないか、確認検討をお願いします。
その他意見 自由記載	—	—	—	伊関委員	当初、評価委員会に関わった時より経営状況は良くなっていると思います。ただ、崩れる時は一瞬なので不断の取り組みを期待します。
				岩瀬委員	東北震災後、災害に対する認識がやや低下しつつありました。能登半島地震があり当事者意識がある現在、もう一度再点検をお願いします。
				松浦委員	令和６年の診療報酬改定で新設された地域包括医療病棟について、検討されてはどうでしょうか。